



### 有松まちづくりの会役員会 (3月25日)

3月20日に開催した「有松を語ろう会」の反省会をしました。「語ろう会」は約50名の参加者で、5グループに分かれて今後の有松まちづくりの会が目ざすものなどについて熱心に議論されました。

本年度総会は、5月22日(水)13:30より絞会館2階で開催に決まりました。

### 令和5年度 日本遺産運営協議会・実行委員会開催 (3月5日)

2019年に認定された有松日本遺産の認定継続には高いハードルがあり、行政と地元が一体となって対応する必要があるため、現在の日本遺産運営協議会・実行委員会の規約を改正しました。

今後は2025年の再認定に向け、名古屋市歴まち課のバックアップのもと、有松の諸団体の長からなる日本遺産運営協議会・実行委員会が有松の日本遺産事業の更なる推進に取り組んでいくこととしました。これに伴い、竹田(当会顧問)会長・実行委員長が退任され、中濱会長がその役を担うこととなりました。

### 絞り開祖並びに物故功労者慰霊祭 (3月9日)

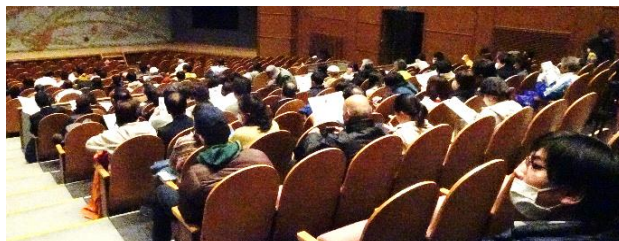
永年に渡り有松絞商工協同組合が挙行されてきた慰霊祭が、コロナ禍を経て6年ぶりに来賓を迎えて行われました。絞会館2階(写真左)と絞り開祖 竹田庄九郎碑前では神事祭、祇園寺(写真右)に会場を移しては仏式法要が営まれました。終了後、成田理事長から「有松の絞りを連綿と繋いでこられた先達の偉業に感謝する」と挨拶がありました。



### 緑区制60周年記念映画 完成披露試写会 (3月1日) 於:緑文化小劇場

「M-60 THE WARRIOR(エム60 ザ・ウォーリア)」と題されたこの映画は、旧鳴海町など名古屋市への合併に反対する暴動などを描いたもの。竹田家住宅や有松天満社境内、岡家住宅の庭などで撮影され、スクリーンに身近な場所が映っていました。

上映当日は、多くの区民が訪れ50分ほど前に満席に。急遽2度の上映になりました。写真は2度目の会場風景。挨拶の長嶋区長は「緑区内での撮影、緑区民出演の映画です。もろ手を挙げて合併したのではなかったことも知ってほしい」と。



(花屋Luore提供)

今月の花 サイネリア

## 春のありまつさんぽ道 福よせ雛と町歩き (2月23日～3月24日) 於:有松東海道沿い

今年の福よせ雛は、600体以上。塗り絵雛や川柳もそれぞれ600以上展示されています。

過日、福よせ雛展示実行委員会の六鹿晴美さんに見どころを案内していただきました。その日はあいにくの雨。有松駅から山与遊歩道を通って東海道に。板塀の屋根に傘をさした雛①がお出迎えです。注目間違いなし。

ここから東に進み郵便局付近では、名古屋短期大学の学生さん制作の雛がまとめて展示。有松小学校トワイライトルームの川柳もおもしろい。

松の根橋で西向きに。絞会館玄関には立派な三段飾り②が飾られています。信号を超えると、有松手芸部制作のトトロ③が旧山田薬局入口に。岡家住宅や安藤商店の格子前には、子ども連れが塗り絵絵馬を探しにたくさん訪れていました。今年の大河「光る君へ」の"まひろ"も展示されていました。なかには凝った展示④もありました。

そして展示終了後には、撤去作業が待っています。多くは実行委員による回収。屋外展示のため、毎年新しい人形に替えられるとのことです。

Studio Suzusanにて ④

① 傘をさす雛



② 絞会館にて



③ 旧山田薬局にて



## 卒業論文取材のため有松を訪問 (3月17日)

愛知大学地域政策学部の学生Sさんが卒業論文の取材で有松を訪れました。テーマは『重伝建地区に展示される福よせ雛(仮)』。9回を迎えた「春のありまつさんぽ道 福よせ雛と町歩き」に着目されての訪問で、実行委員が取材に応じました。全国で32箇所展示された今年の福よせ雛プロジェクト、江戸情緒漂う町並み・重伝建のまち有松でイキイキと輝く雛たちに注目でした。



## 緑区役所主催 福よせ雛散策会 (3月20日)

緑区ルネッサンスフォーラム企画による、有松東海道沿いの福よせ雛を見学する散策会が行われました。有松あないびとの会のガイド。展示された福よせ雛を詳しく説明され、町並み案内だけでないツアーに参加者は大満足。寒く雨降りでしたが、「楽しんで見学できました」との声。

当日はCCNetの取材もあり、広く福よせ雛を区民等に紹介する機会にもなったようです。放映は4/22～28。



## 東海TV スイッチ で 福よせ雛 紹介される (3月3日)

"高橋ひとみのちょっとひと駅"のコーナーで福よせ雛がたくさん紹介されました。歩かれたのはcucuri→寿限無茶屋→MARUKI→彩→味福と有松東海道の全域。放映後、味福では昼に行列が見られたとか。

また、交通局ニュース NAGOYA PALETTE 3月にも(写真左)コンパクトで紹介がされていました。



## 有松史料調査保存会 第3回発表会

(3月14日~17日)

於:棚橋家住宅

今年の主な展示内容は、①創立150周年の有松小学校の歩み  
②第40回開催の有松絞りまつり③竹田耕三コレクションです。  
他に皆様からご提供いただいた資料等が展示されていた。

初日こそ出足は鈍かったが、4日間の入場者は500名余り。会場では保存会の方の丁寧な対応に昔の記憶を呼び戻す人もいた。

会場奥には嵐絞りが数多く展示されていた。展示パネルの中で興味を引いたものに"現代の嵐絞り"がある。紹介したい。

嵐絞りは道具の工夫で、短期間の修行で量産できる。

復元に取り組んだのは早川嘉英氏。一人で作業ができるように棒をステンレス、棒ごと染められる深い桶を灰汁発酵建ての染場に用意。建築素材にも絞り形状を残す新しい絞りを考案。

久野剛資氏は太く短いステンレス筒を使い、広い染桶で洗う方法で制作。イッセイミヤケの製品を染め上げた。この装置は布地幅が広いものにもでも嵐絞りを染めることができ、現代の洋装・和装・インテリアに応用。化学染料・天然染料で染める。



## 有松まちなみ美術館 (3月14日~17日)主催:NPO法人コンソーシアム有松

テーマは「有松絞りのインテリアを考える」。旧庄九郎カフェに入ると、テーブルに食器がセッティング。江戸時代後期の建物にモダンな食卓がよく合っている。壁には遠州織物を使用した久野剛資氏制作の暖簾が掲げられている。窓側には絞り研究家 故竹田耕三氏の本藍染暖簾が展示。素敵な空間が演出されていた。

また、旧山田薬局にも竹田耕三氏の本藍染作品が浮世絵と共に展示されていて、絞の歴史が感じられた。

旧庄九郎カフェ→

## 有松天満社 春季大祭 (3月17日)

ここ数年、参拝客を増やしている有松天満社。9時過ぎ、東海道を天満社に向かう人の流れが見られました。上の広場では、いつもの有松・東丘・太子の各小学生による習字が掲げられていました。お祓いを受ける人も・・・拝殿には参拝客が途切れません。

今年の春季大祭では更なる工夫が見られました。従来の牛の絵柄の絵馬に加え、"うそ"など5種類の絵馬が用意されていました。また、子どもでも気軽にお願いできるようにと塗り絵型の紙製のものも用意されていました。

新絵馬は名付けて「虹色夢絵馬(にじいろゆめえま)」、多くの参拝客が夢を求めて書き込んでいました。



新絵馬「虹色夢絵馬」



従来の絵馬 塗り絵絵馬

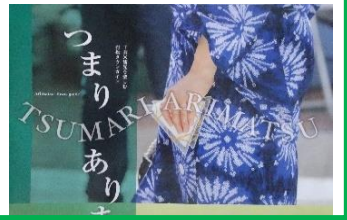
## アリマツマーケット開催 (3月3日) 於:有松天満社

上の広場ではキッチンカーのエリアと体験を中心としたお店が出されていました。



配布中

有松  
タウンガイド  
2024春夏号  
TAKE FREE



## 有松町家ライブひな祭りライブ (3月3日) 於:棚橋家住宅

春に相応しい箏(杉浦充)と二胡(中村ゆみこ)の演奏。2か月ぶりの開催に50名程が参加。1階はすべて観客席。オープニングは話題の服部良一の蘇州夜曲。最後に上を向いて歩こうを全員合唱。  
\*次回案内 4月14日(日) 14:00~ 春の奏 チェロライブ 棚橋家



## KITTE名古屋から寄贈の反物 展示 (~4月30日) 於:岡家住宅・有松郵便局

2018年に名駅で展示されていた絞り反物25反が、「地元で活用いただければ」とのご好意で有松あないびとの会に寄贈されました。岡家住宅(写真左)と有松郵便局(写真右)に飾られています。絞りの美しさ・技の豊富さなどが身近に見られ、また1反の長さが感じられるように工夫された展示にも注目です。



岡家住宅 土・日

10:30~15:30



《展示日時》

郵便局 平日 9:00~17:00

\*\*\* \*\* 防災を考える \*\*\* \*\*

## 有松防災教室 (3月16日)

於:moss ARIMATSU

名古屋市主催。参加者約20名が3グループに分かれて実施。地震を想定した防災ボードゲーム「いえまですごろく」を行い、災害にあった時どう対処するかを学んだ。「結構楽しかったね」の声。ゲームをする中で、自然に救命を学べたようである。

ゲームの後、緑消防署の吉田さんから火災警報器設置の話。最後に消火器訓練を行って終了。有松消防団の方も参加されていました。



消火器訓練の様子

## 有松消防団 新型車両導入 (3月27日)

新型の消防団車両が有松にやってきた。緑区消防団28団中2番目。来年は桶狭間とのこと。名古屋市では、今後18年間で順次老朽化した車両の交換を進めている。

有松消防団団長 鈴木義昭氏は「今まで災害時に活躍してくれた旧車両に感謝しつつ、導入された新型車両の性能を最大限に活かし団員一丸となって地域の安全安心を守っていきたい」と話してくださいました。



旧車両(左)と新型消防団車両(右)

有松消防団詰所

## 催事・行事予定

- 4月15日(月) 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 4月22日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- 4月28日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 4月中旬~ 絞り鯉のぼり展示 有松東海道沿い 同実行委員会

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊



## 特集 第4回 東海ブロック町並みゼミ 松阪大会 (3月23日)

全国町並み保存連盟理事の浅野聡氏の基調講演・加盟団体等の活動報告(4団体：有松まちづくりの会等)に続き、「町並みの保存・再生と観光振興を考える」をテーマにシンポジウムが行われた。パネラーの一人として有松まちづくりの会の中濱豊会長が参加。討議に先立ち、テーマに沿って有松での状況の報告がなされた。

大会前後には散策会が用意され、「旧長谷川治郎兵衛家」など豪商のまちの一端に触れることもできた。

### ◆ パネルディスカッションでの活動報告：中濱 豊 会長 ◆

有松の3つの「たからもの」を柱に、有松での活動報告が行われた。

「**絞り**」：絞組合に約20社が加盟しているが、今春後継者難などで3社が廃業される。6月の絞りまつりでは、2日間で8万5000人の人出。見ていただくだけでなく、絞りの体験に力を入れてきた。数か所で雪花絞りなどの体験コーナーを用意。各700人程が行列して楽しんでいる。日頃から、絞会館や各店舗でも絞り体験に力を入れている。

「**町並み**」：重伝建に選定された江戸時代を彷彿させる町並みが先人の努力で残されているが、所有者の高齢化が進んでいる。今、名古屋市と一緒に、古民家の利活用を進めている。名古屋市が取得した岡家住宅は令和12年度に向けて補修が進められている。古民家再生も民間業者や行政の補助金を得ながら進められている。

「**山車**」：3輛あり、10月の秋祭りには東海道を曳かれる。重伝建地区の周りは人口増。山車を曳いてもらうなど、新住民との交流にも努めたい。

### ◆ 松阪での町並み案内 ◆

午前中は**武家町散策**。松坂城跡―御城番屋敷―旧同心町を歩いたが、雨天のため主に「松阪市歴史民俗資料館」と「本居宣長記念館」の見学が中心であった。

午後は雨も上がり、約1時間かけて**豪商のまち**を案内していただいた。三井家発祥地では門の前で三井高利に思いを馳せ、旧小津清左衛門家の万両箱に驚かせられた。重要文化財の旧長谷川治郎兵衛家は30以上の部屋がある主屋と5棟の蔵の一部しか見学できなかった。また、ゆっくりと見学に来たい。



シンポジウムでの報告  
(左から2人目)



発表スライドより



旧長谷川治郎兵衛家の庭



町並み散策の様子

## 「有松地区古民家利活用事業」に関する住民説明会 (3月20日・21日)

有松の古民家を活かしたまちづくりの考え方にに基づき、民間事業者が主体的に伝統的建造物を活用していく「有松地区古民家利活用事業」について、連携事業者(株)つぎとにより20日はmoss ARIMATSU(モスアリマツ)、21日は有松コミセンで開かれました。

(株)つぎとの岡田さんと近藤さんから、(株)つぎとのこと、この利活用事業の進め方などの説明があり、参加者は疑問に思っていること等を質問していました。



20日会場のmoss ARIMATSU

## 岡家住宅の魅力① おもてなしの庭

春の長雨で、裏庭の空池に水が溜まっていた。その数日前、庭木も伐採され、築山と池が少しだけ昔の姿に戻ったようだ。

岡家を描いた錦絵の西の門の奥に籠が描かれている。上客と商談するのに、主屋のおもてなしの部屋に向かうのであろう。その部屋から見えるのが右写真の庭。復元が待たれるところである。

有松の絞商家の何軒かには主屋西側に上客用の門が残されている。



## 有松学区区政協力委員長の交代

この度、長年務められた小澤武夫さんから堀内広実さんに交代されました。

### 小澤さん談

私は18年余りに渡り、“有松コミュニティーセンター開館”や“有松東海道無電柱化”“有松一里塚復元”等々の事業に関わってきました。

中でも東海道無電柱化は、対応することが多く、開始から8年余りを要した大変な事業でした。若手の皆さんの奮闘、この事業を理解し後押しをしてくださった多くの住民の皆さんのお陰で、成し遂げられたと感謝するばかりです。

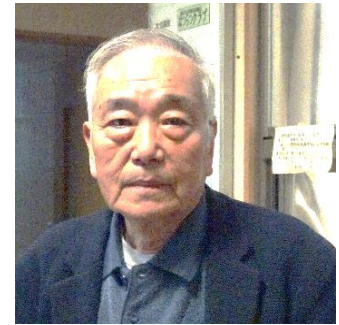
この度、多くの皆さんのご助力を得て、一区切りをつけることができました。私の健康をお気遣いくださる皆さんに迷惑をおかけしないよう心がけて、残余の老境を過ごします。

### 堀内さん談

本年4月に有松学区区政協力委員会委員長に就任いたしました堀内広実と申します。

有松は、「東海道無電柱化事業」「重要伝統的建造物群保存地区選定」「日本遺産認定」等により全国的に知られる町となりました。前任の小澤武夫委員長の長年のご功績と皆様のご努力を引き継いで責務を全うしなければなりません。

今、大きな緊張感が細身に充満しております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



小澤武夫 さん



新しく委員長になられた  
堀内広実 さん



有松の小天狗さん

切り絵 豊田信行



有松の町並み(長坂道)

切り絵 豊田信行

## 豊田信行 切り絵作品展